



東京都立志村学園

肢体不自由教育部門

小学部・中学部・高等部

学校案内

SHIMURA GAKUEN



〒174-0045 東京都板橋区西台一丁目41番10号

電話 03 (3931) 2323 (代)

ファクシミリ 03 (3931) 3366

ホームページ <https://shimuragakuen-sh.metro.ed.jp>

E-mail S8000852@section.metro.tokyo.jp

X(旧Twitter) <https://twitter.com/shimuragakuen>

\\ 学校HPはこちら //





教育目標

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

【肢体不自由教育部門の教育目標】

健康や体力、確かな学力、豊かな人間性など生きる力を養い、地域社会の一員として、主体的に自立・社会参加し、生涯にわたって心豊かに生きていく人間を育成する。

- ア 健康な体と豊かな心を養う。
- イ 自ら学び、自ら考え、積極的に行動しようとする意欲や態度を育てる。
- ウ 障害による学習上又は生活上の困難を克服し、自立・社会参加に必要な知識・技能・態度を養う。
- エ 豊かな情操を育み、社会性や規範意識を養う。
- オ 社会の一員としての自覚を育て、進んで自立・社会参加する意欲や態度を養う。



校訓

継続は力なり “今、自分にできること” “今、自分がすべきこと”を誠実に積み重ねることを大切にします。



基本方針

◎個々の教育ニーズに対応します

1：児童・生徒の障害等に応じた3つの教育課程を編成します

「自立活動を主とする教育課程」「知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程」「小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行う教育課程」 ※通学が困難な児童・生徒には訪問教育を実施します。

2：専門家と連携して、指導力を高めます

医療機関、大学、就労支援機関等の専門家と連携しながら、各教科や自立活動等の指導の充実を図ります。児童・生徒一人一人の障害の状態や発達段階等を的確に把握し、個別指導計画に基づく指導と評価を行います。

3：支援ネットワークの構築に取り組みます

高等部卒業後の生活の質の向上を目指して、在学中から、教育・医療・福祉・労働等の関係機関と連携し、支援を得ながら地域で安心して生活できる環境をつくります。関係機関との連携には、学校生活支援シート（個別の教育支援計画）・移行支援資料を活用します。

4：キャリア教育・進路指導の充実を図ります

関係機関等との連携を図り、計画的・組織的にキャリア教育を進めて、就労、福祉就労、福祉施設等での活躍等、一人一人が希望する生活の実現に努めます。「準ずる教育課程」では、大学進学にも対応します。

小学部から、コンピュータ等の ICT 機器や支援機器、補助具、支援技術等を活用して指導します。

◎特別支援教育のセンター的機能を発揮します

就学前施設・小・中・高等学校に在籍する支援の必要な児童・生徒に、専門性を活かした支援を行います。研修会等を実施して、地域の方々と共に学ぶ機会を設けます。



教育課程 一人に応じた指導と支援の充実

○3つの教育課程ごとに学習グループを編成します。

小学部

中学部

高等部

「自立活動を主とする教育課程」の学習グループ

- 障害が重い児童・生徒の教育ニーズに対応した教育課程です。
- 「自立活動」には、①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成 ④環境の把握 ⑤身体の動き ⑥コミュニケーションの6区分があり、個々の実態に応じて、指導の目標と内容を設定して授業を行います。

「知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程」の学習グループ

- 知的障害特別支援学校の各教科等の目標・内容の一部や、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせた授業を行うことができる教育課程です。
- 日常生活に活かせる様々な技能を身に付けたり、自立への態度を育てたりする学習を行います。中学部からは作業学習を行います。

「小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行う教育課程」の学習グループ

- 小・中・高等学校に準ずる教育を行う課程です。
- 上級学校への進学や、企業就労の希望に対応していきます。

自立と社会参加



スクールバス

全14コースです。

- ①豊玉コース ②桜台コース ③北町コース ④三園コース ⑤高島平コース ⑥新河岸コース
- ⑦舟渡コース ⑧浮間コース ⑨赤羽コース ⑩上板橋コース ⑪宮本町コース ⑫東新町コース
- ⑬羽沢コース ⑭成増コース

この他、医療的ケア専用通学車両も合わせて運行しております。





時間割

小学部1年生『自立活動を主とする教育課程』 1単位時間：45分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	自立活動	図画工作	生活単元学習	自立活動	音楽
3	国語・算数	生活単元学習	生活単元学習	特別活動	自立活動
11:30	日常生活の指導				
11:45	給食				
12:15	休憩				
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	学級帰りの会 1便出発	学級帰りの会 1便出発	学級帰りの会 1便出発	体育	学級帰りの会 1便出発
6				日常生活の指導	
15:30				学級帰りの会	
15:40				下校	
15:45				2便出発	

中学部『知的障害を併せ有する生徒の教育課程』 1単位時間：50分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	国語	数学	自立活動	国語	数学
2	数学	音楽	特別活動	保健体育	作業学習
3	国語	自立活動	総合的な学習の時間	保健体育	作業学習
11:45	給食				
12:15	休憩				
4	日常生活の指導	日常生活の指導	自立活動	日常生活の指導	日常生活の指導
5	職業・家庭	生活単元学習	学級帰りの会 1便出発	外国語	国語
6	自立活動	生活単元学習		自立活動	数学
	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導
15:30	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	学級帰りの会
15:40	下校	下校		下校	下校
15:45	2便出発	2便出発		2便出発	2便出発

高等部2年生『準ずる教育課程（ビジネス類型）』 1単位時間：50分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	論理国語	保健	数学Ⅱ	論理国語	数学Ⅱ
2	生物基礎	体育	ホームルーム活動	地理探究	生物基礎
3	音楽Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ	地理探究	キャリア演習
	数学Ⅱ	キャリア演習	論理国語	キャリア演習	キャリア演習
11:45	給食				
12:15	休憩				
4	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	自立活動	産業社会と人間	産業社会と人間
5	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	学級帰りの会 1便出発	数学Ⅱ	パソコン演習
6	情報Ⅰ	地理探究		論理国語	自立活動
15:30	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	学級帰りの会
15:40	下校	下校		下校	下校
15:45	2便出発	2便出発		2便出発	2便出発

時間割の に注目

小学部1年生は、週4回1便下校の時間割からスタートします。学年進行で授業時間が増えて、2便下校の回数が増えます。

「日常生活の指導」や「生活単元学習」では各教科等の内容を合わせて指導します。時間割の前後の教科と関連付けたり、年間を通じて他の教科等と関連付けて指導します。自立と社会参加に必要な能力と態度を育てます。

中学部、高等部の「知的障害を併せ有する生徒の教育課程」では、週2時間「作業学習」を行います。オフィス事務や校内環境整備等の作業活動を通して、働く態度、協力する態度、自立する気持ちを育てます。接遇マナーなども学びます。

高等部の「準ずる教育課程」では、学習や生活の質を高めるために、教科「情報」の学習をします。「パソコン演習」「キャリア演習」等の学校設定教科の履修が可能で、ICT機器等を活用して学び、生活する能力の向上を図ります。「進学重点類型」と「ビジネス類型」の二つの類型に分かれて大学等への進学と企業就労等に対応します。

「自立活動」のうち週2時間(高等部の準ずる教育課程は週1時間)は、上肢下肢訓練室で個別の取組を行います。

【スクールバス下校便の呼称について】

- 1便 13:50 学校出発の下校便のこと
- 2便 15:45 学校出発の下校便のこと
- 時間割には記載していない下校便
- 午前便 11:40 学校出発の下校便のこと

本校は二学期制です。(前期4月～9月、後期10月～3月)

本校の主な行事

●文化祭 ●宿泊行事 ●総合防災訓練 ●社会見学等



施設設備 最新の施設設備での教育活動



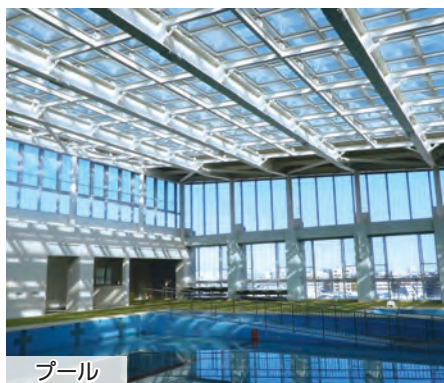
上肢下肢訓練室



情報科室



中庭（プレイグラウンド）



プール



第一体育館



第二体育館

- 校内デザインは、階や教育部門のゾーンごとに色分けをして、位置情報を示します。ピクトグラム（シンボル等）による表示を工夫して、避難経路や教室への動線を分かりやすくしています。
- 快適に生活するため、空調・加湿・照明等の設備を整えています。
- 特別教室を充実させ、多彩な教育活動を行えるように工夫しています。



学習環境の整備 情報を分かりやすく伝える工夫

1：見て分かりやすい学習環境づくり

一人一人に分かりやすく情報を伝えるため、ディスプレイでの表示、背景の整理、コントラスト等を工夫し、見て分かりやすい学習環境を整えています。

2：支援機器の効果的な活用

意思表示とコミュニケーションの可能性を広げ、理解を助けるために、個に応じた教材を作成したり、支援機器を活用したりします。パソコンやタブレット端末での入力等の支援を行って、大学進学や就労の希望に応えます。





学校生活の様子

児童・生徒の課題に応じて、様々なテーマを設定して学習します。
教材・教具を工夫して体験的な学習となるような授業が行われています。

小学部



国語・算数



音楽

中学部



美術



体育

交流及び共同学習



【学校間交流】

近隣の小学校と交流教育を実施しています。

【副籍交流】

都立特別支援学校の小・中学部の児童・生徒が、居住する地域の小・中学校地域指定校に副籍（副次的な学校籍）をもち、様々な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

部活動



「運動部」として活動しています。毎年行われる東京都障害者スポーツ大会と、東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカーへの出場に向けて活動しています。

また、パラリンピック種目である「ボッチャ」の活動にも力を入れ、大会にも参加します。

高等部

卒業後の進路先を決定するため現場実習や進路学習を行います。



全ての教育活動を通して、一人1台端末を含めた ICT 機器等の活用と、分かりやすい情報提供に取り組んでいます。社会に出る前に、自分に合ったコミュニケーション方法を整えていきます。



訪問学級



学校への通学が難しい児童・生徒のために教員が家庭を訪問して指導を行います。定期的に自立活動担当の教員も訪問し、身体を取り組みを行います。

スクーリングやオンラインで学校行事等に参加し、学校の友達と活動することもあります。



自立活動



児童・生徒の課題に応じて健康面、身体面、心理面、認知面、コミュニケーション面を中心に、個別の取り組みを行っています。外部専門家の支援も受け、自立活動教員や担任と一緒にを行います。



